

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																		
ET45H012		自閉症心理学演習(Seminar in Psychology for the Children with Autism)					特別支援教育																		
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																			
選択	2	1	大学院教育学研究科	前期		氏名 衛藤 裕司 E-mail eto@oita-u.ac.jp 内線 7537																			
授業の概要	自閉症スペクトラム障害(知的障害のある自閉症を含む)のある子どものことばの心理学的アプローチについて学ぶ。自閉症スペクトラム障害のある子どものことばの獲得に関するこれまでの研究を概観した後に、指導モデルを詳細に検討し、さらに実施のための具体的な技術について学ぶ。																								
具体的な到達目標																DP等の対応(別表参照)									
目標1 ことばに関する4つの立場を知り、それぞれの自閉症スペクトラム障害における状態を示すことができる。																1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標2 自閉症スペクトラム障害のことばの指導に関する各アプローチの概要を知る。																									
目標3 実際の指導モデルを知り、具体的な技術を分析することができる。																									
目標4																									
目標5																									
目標6																									
目標7																									
目標8																									
目標9																									
目標10																									
授業の内容																									
1 自閉症スペクトラム障害のことばの特徴																									
2 自閉症スペクトラム障害のことばの機能(語用論)																									
3 自閉症スペクトラム障害のことばの音韻の発達(意味論)																									
4 自閉症スペクトラム障害のことばの語と意味の獲得(意味論)																									
5 自閉症スペクトラム障害のことばの文法的発達(統語論)																									
6 自閉症スペクトラム障害のコミュニケーション能力																									
7 自閉症スペクトラム障害のことばの発達と社会情緒的発達																									
8 自閉症スペクトラム障害のことばへの心理学的アプローチ1																									
9 自閉症スペクトラム障害のことばへの心理学的アプローチ2																									
10 知的障害のある自閉症スペクトラム障害へのABAアプローチ1																									
11 知的障害のある自閉症スペクトラム障害へのABAアプローチ2																									
12 知的障害のある自閉症スペクトラム障害への語用論アプローチ1																									
13 知的障害のある自閉症スペクトラム障害への語用論アプローチ2																									
14 自閉症スペクトラム障害へのソーシャルストーリー指導																									
15 自閉症スペクトラム障害へのソーシャルスキル指導																									
ラーニング	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造		ディスカッション(話し合い)、事例研究(ケース・メソッド)、相互教授			工夫 その 他の	ビデオ分析																		
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	事前配布課題(15時間)																							
	事後 学修	配布資料による復習(15時間)																							
教科書	プリントを配布する。																								
参考書	Paul A.Alberto, Anne C.Troutman(原著), 佐久間徹(翻訳)(2004): はじめての応用行動分析(日本語版 第2版), 二瓶社, ISBN-10: 4861080150, ISBN-13: 978-4861080159																								
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10													
	(課題)言語状態の記述	30%																							
	(課題)アプローチの概要	30%																							
	(レポート)具体的技術分析	40%																							
注意事項	特になし。																								
備考	特になし。																								
リンク	URL																								